

高等部 1～3 年合同 生活単元学習 学習指導案

日 時 : 9 月 19 日(火) 3・4 校時
場 所 : 高等部 1 年教室
指導者 : ○○○○(T 1), ○○○○(T 2)

1 単元名 絆カフェ・ショップを成功させよう～北秋田地域振興局での出店に向けて～

2 単元の見どころ

- (1) 北秋田地域振興局での出店に向けて、自分の目標を意識して「計画 - 出店 - 振り返り」の一連の活動に進んで取り組む。
〈自分を知る力・生活する力・働く力〉
- (2) よりよい絆カフェ・ショップの出店に向けて、接客や店づくりについて友達と意見を出し合いながら協力して運営する。
〈自分を知る力・人と関わる力〉

3 生徒と単元

(1) 生徒について

本学習グループは、3 年生 1 人、2 年生 4 人、1 年生 7 人の計 12 人で構成されている。言語による指示理解ややりとりが可能であるが、全体指示に併せて、個別に活動内容を確認する必要がある生徒が数人いる。出店の際に、教師に確認することが増えたり、接客のときに声が小さくなったりと自信をもって取り組めないこともあるが、「計画 - 出店 - 振り返り」という決まった流れで学習活動を繰り返し、経験を積み重ねることで、見通しをもって活動に取り組み、自分の課題を見つけて目標を考えることが増えてきている。

話し合い活動では、自分の意見に固執して話し合いで決まったことを受け入れることができず落ち込む生徒もいるが、話し合い活動における約束を確認してから取り組むことで、友達の意見に続けて自分の意見を発したり、友達の意見を受け入れたりする姿が見られるようになってきた。

学年によって絆カフェや絆ショップでの販売経験に差があるものの、全員が高い意欲をもち、友達と協力したり、お互いを認め合ったりしながら、よりよい絆カフェ・ショップを作り上げようと学習活動に取り組めるようになってきた。繰り返し出店することで、地域の方々に認められる経験や作業学習製品などが売れる喜びを感じている。そして、よりよい店づくりについて考えていく活動を通して、自分も絆カフェ・ショップの一員である自覚をもち、課題を見つけて解決していこうという姿も見られるようになってきた。

(2) 単元について

本単元では、北秋田地域振興局での絆カフェ・ショップの出店に向けて、自分たちで「計画 - 出店 - 振り返り」に取り組んでいく。同振興局での出店は 4 回を予定しており、同じ場所で複数回出店することは本年度が初めてである。出店を含む一連の活動を繰り返し学習することで、課題や改善後の成果が分かりやすく、生徒たちの主体性につながると考える。

3 回目の出店に向けて、売上げ予想や商品管理を含めた準備活動に友達と協力したり、自分で目標を考えたりして取り組む。計画や準備の段階から自分たちで取り組むことで、生産、販売、消費などの経済活動や流通に関する基本的な知識を身に付けることができるとともに、自分の役割を果たそうとして進んで活動に向かう姿が増えることが期待できる。地域の方々、友達、教師に評価される経験をすることで、一連の活動に、自分から進んで自信をもって取り組むことができ、人と関わる力を育むことができる。また、絆カフェ・ショップをよりよくするために、お客様に喜んでもらえる接客や店づくりなどを話し合い活動を通して考えていく。友達と意見を出し合ったり、友達の意見を受け入れたりすることを通して、友達と協力して課題を解決する経験を積み重ねることができる。自分の考えをもったり、相手を尊重して関わったりすることは、ほかの学習場面や卒業後の社会生活にもつながると考える。

自分たちで計画し、話し合っ改善したことが成功したり、売上げが伸びたりしたときに大きな達成感や成就感を味わうことができるとともに、地域の方々に喜んでもらえる経験や感謝される経験を積み重ねることで、自分の良さに気づき、今後、様々な活動に自信をもって取り組むことができると考えて、本単元を設定した。

(3) 指導に当たって

指導に当たっては、次の点に留意する。

〈学習活動〉

- ・活動内容をイメージして、目標をもつことができるように、写真や動画で確認したり、前回のキャリアノートを振り返ったりする。(主)
- ・よりよい絆カフェ・ショップの出店に向けて、自分たちで課題に気付くことができるように、お客様アンケートをまとめる活動や参加した生徒が気付いたことを伝える活動を設定する。(主・対・深)
- ・自信をもって自分の意見を発表できるように、話合いの前に自分で考えて、意見を記入する時間を設定する。(主)
- ・自信をもって役割を果たしたり、進んで学習に取り組んだりできるように、授業の進行役や黒板への掲示役など生徒が中心となって進める学習活動を設定する。(主・対)
- ・グループでまとめた意見を分かりやすく伝えることができるように、前回出店時のレイアウトを再現したり、ロールプレイをして発表したりする活動を設定する。(対・深)
- ・話合い活動において、自分たちで解決できないときは、考えを深めることができるように、地域の先生に助言を依頼したり、本やインターネットで調べて情報収集したりする活動を設定する。(主・対)

〈場の設定、教材・教具〉

- ・学習の流れに見通しをもって、進んで学習に向かうことができるように、学習の流れや板書と関連させたワークシートを用意する。(主)
- ・活動の中で意識してほしいポイント(接客で大切なこと、話合いの約束、発表するときの話形など)が視覚的に分かるように、板書したり、机上の見えやすい位置に提示したりする。(主)
- ・司会を担当する生徒が話合いを進めることができるように「話合いシート」を用意する。(主)
- ・まとめや発表ができるように、模造紙と関連したワークシートを用意する。(主・対・深)
- ・友達の話の聞いたり、活発な意見交換をしたりできるように、話し合う内容によって人数構成や座席配置を工夫する。(主・対・深)

〈教師の働きかけ〉

- ・生徒が話合いに専念できるように、教師が模造紙に記入する。また、話合いの経過やまとめが分かるように可視化する。(主・対・深)
- ・生徒同士で、話合い活動や準備に取り組むことができるように、ポイントを明確にして、簡潔な言葉を掛ける。また、自分たちで活動を確認できるように、黒板にも掲示する。(主)
- ・話合い活動では、活発な意見交換をすることができるように、生徒の気付きを促す発問をする。(対・深)
- ・自信をもって自分から動き、人と関わるができるように、そのような場面が見られたりしたときは、具体的な言葉で即時評価する。(主・対・深)

4 指導計画(総時間数 61時間 本時 34・35時間/61時間)

学習活動		ねらい	時数	主	対	深
一回目 7月21日	○計画 ・日時・場所・役割・活動内容について知る。 ・売上予想を立てる。 ・目標を考える。	・出店までのスケジュールを知る。 ・予想の立て方を知り、教師や友達と一緒に売上予想をする。 ・自分が担当する役割が分かり、教師と確認しながら目標を考える。	4時間	○	○	
	○出店 ・開店準備をする。 ・北秋田地域振興局で出店する。 ・片付けをする。	・準備から片付けまで自分の役割を果たしながら一連の活動に友達や教師と一緒に取り組む。 ・教師や友達と言葉を掛け合ったり、分担したりしながら出店する。	4時間	○	○	
	○振り返り ・売上げを計算する。 ・目標の振り返りをする。	・売上げを計算する方法を知り、教師や友達と一緒に売上げを計算する。 ・自分の役割や目標を意識しながら活動できたかを振り返る。	2時間	○	○	○

二 回 目 8 月 31 日	○計画 ・日時・場所・役割・活動内容について知る。 ・売上げ予想を立てる。 ・目標を考える。 ・よりよい接客について話し合う。	・出店までのスケジュールを知る。 ・予想の立て方を知り、友達と一緒に売上げ予想をする。 ・自分が担当する役割が分かり、目標を考える。 ・前回の体験からよりよい接客について、教師や友達と話し合う。	4時間	○	○	○
	○出店 ・開店準備をする。 ・北秋田地域振興局で出店する。 ・片付けをする。	・準備から片付けまで自分の役割を果たしながら一連の活動に取り組む。 ・友達と言葉を掛け合ったり、分担したりしながら出店する。	4時間	○	○	
	○振り返り ・売上げを計算する。 ・目標の振り返りをする。	・売上げを計算する方法を知り、友達と一緒に売上げを計算する。 ・自分の役割や目標を意識しながら活動できたかを振り返る。	2時間	○	○	○
三 回 目 11 月 30 日	○計画 ・日時・場所・役割・活動内容について知る。 ・売上げ予想を立てる。 ・目標を考える。 ・地域の先生から接客や店づくりに関する助言・指導を受ける。 ・よりよい接客や店づくりについて話し合う。	・出店までのスケジュールを知る。 ・前回や昨年度の売上げを参考に友達と一緒に売上げ予想をする。 ・前回の振り返りを参考に、目標を考える。 ・前回のアンケートや体験から、よりよい接客や店づくりについて友達と話し合う。	19時間 (本時 14・15/19 時間)	○	○	○
	○出店 ・開店準備をする。 ・北秋田地域振興局で出店する。 ・片付けをする。	・準備から片付けまで自分の役割を果たしながら一連の活動に進んで取り組む。 ・友達と言葉を掛け合ったり、分担したりしながら出店する。	4時間	○	○	
	○振り返り ・売上げを計算する。 ・目標の振り返りをする。	・友達と協力して売上げを計算する。 ・自分の役割や目標を振り返り、次回への目標をもつ。	2時間	○	○	○
四 回 目 12 月 14 日	○計画 ・日時・場所・役割・活動内容について知る。 ・売上げ予想を立てる。 ・目標を考える。 ・よりよい接客や店づくりに向けて話し合う。	・出店までのスケジュールを知る。 ・前回や昨年度の売上げを参考に友達と一緒に売上げ予想をする。 ・前回の振り返りを参考に、目標を考える。 ・前回のアンケートや体験から、よりよい接客や店づくりについて課題を見付け、話し合う。	10時間	○	○	○
	○出店 ・開店準備をする。 ・北秋田地域振興局で出店する。 ・片付けをする。	・準備から片付けまで自分の役割を果たしながら一連の活動に進んで取り組む。 ・友達と言葉を掛け合ったり、分担したりしながら出店する。	4時間	○	○	
	○振り返り ・売上げを計算する。 ・目標の振り返りをする。	・友達と協力して売上げを計算する。 ・自分や友達の役割や目標を振り返り、次回への目標をもつ。	2時間	○	○	○

5 本時の計画

(1) 全体の目標

- ・前回出店時の反省を基に、お客様が買いやすい店にするための物の配置を考えることができる。

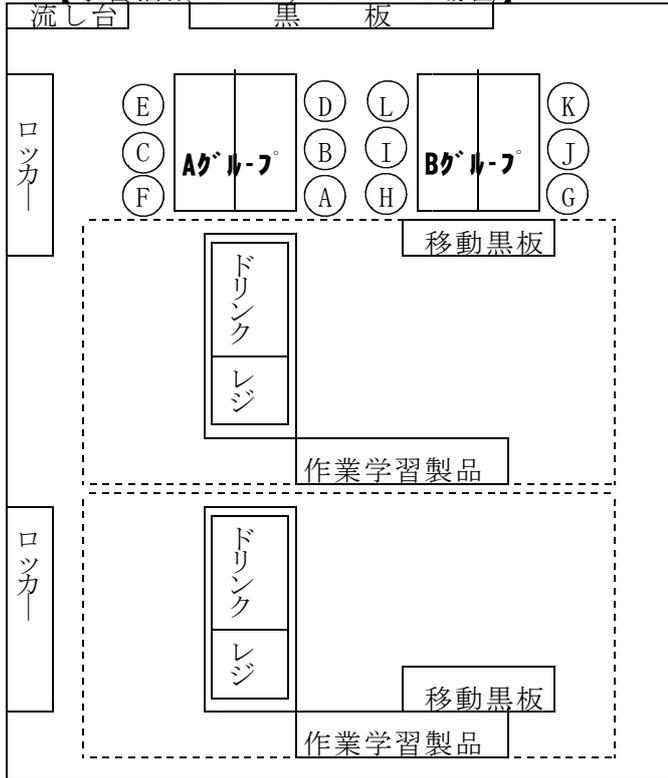
(2) 個別の目標

氏名	生徒の特性と様子	個別の指導計画の目標(年間)	単元の目標	本時の目標
A		<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい絆カフェ・ショップの運営を指して、自分の意見を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と関わりながら、自分が担当する係に必要な道具を進んで準備する。 ・具体物を動かすなどしながら、教師と一緒に自分の意見を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に道具を動かしたり、写真を選んだりしながら教師と一緒に意見を考えて友達に伝える。
B		<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい絆カフェ・ショップの運営を指して、自分の意見を伝えたり、友達の見えを受け入れたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達に伝わるような言葉で方法を教えたり、友達とやりとりしたりしながら活動する。 ・友達の意見を受け入れながら、話し合ったり、話し合いを進めたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見をつながけながら、話し合いを進行する。
C		<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい絆カフェ・ショップの運営を指して、自分と見通しをもち、自分の役割を自覚して活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当する係に専念するだけでなく周りの状況を見ながら活動する。 ・話し合いのルールに沿って自分の意見を簡潔に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見が友達に伝わりやすいように、先に結論を述べてから理由を説明する。
D		<ul style="list-style-type: none"> ・絆カフェ・ショップの活動に見通しをもち、自分の役割を自覚して活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当する係に必要な道具を準備したり、分からなことは自分から友達に聞いたりしながら活動する。 ・理由を付け加えながら自分の意見をはっきり伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見が友達に伝わりやすいように、はっきり伝える。
E		<ul style="list-style-type: none"> ・絆カフェ・ショップの活動に見通しをもち、自分の役割が分かって進んで取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一連の活動を繰り返す中で、担当する係の活動内容を覚えて、正しい手順で取り組む。 ・決められた時間内に自分の意見をまとめて、進んで発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・決められた時間内に意見を付せん紙に記入し、友達に簡潔に伝える。
F		<ul style="list-style-type: none"> ・絆カフェ・ショップの活動に見通しをもち、自分の役割を自覚して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一連の活動を繰り返す中で、自分の担当する係の活動内容を覚えて、友達と協力しながら正しい手順で取り組む。 ・理由を付け加えながら自分の意見をはっきり伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見と理由を進んで伝える。

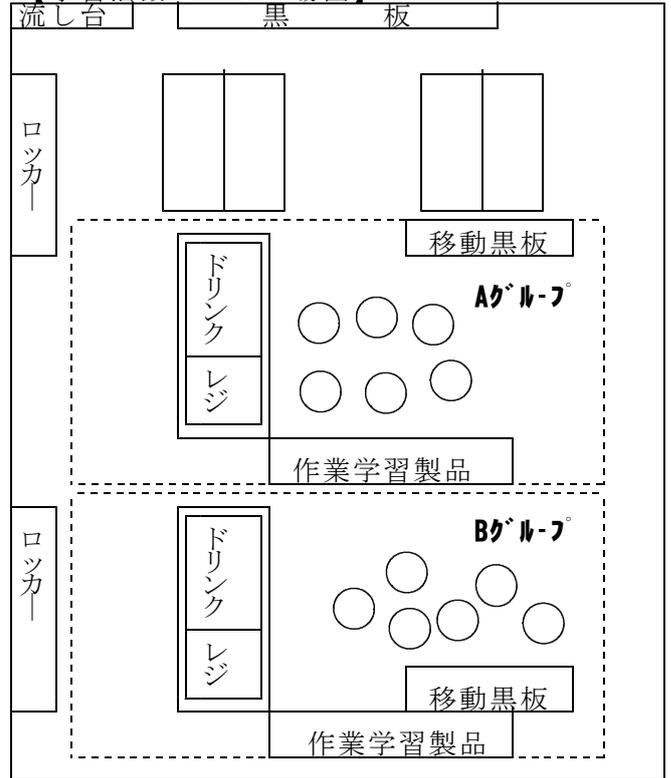
G		<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい絆カフェ・ショップの運営を目指して、自分の意見を伝えたり、友達の意見を受け入れたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備や本番の活動では、友達との適切な言葉遣いを意識しながら、お客様が喜ぶ態度で接客する。 ・話合いのルールに沿って自分の意見と理由を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話合いのルールに沿って自分の意見と理由を伝える。
H		<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい絆カフェ・ショップの運営を目指して、自分の意見を伝えたり、友達の意見を参考にしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備や本番の接客では、立ち居振る舞いに気を付ける。 ・自分の意見が相手に伝わりやすいように、内容を整理してから発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を発表シートを手掛かりにして伝える。
I		<ul style="list-style-type: none"> ・絆カフェ・ショップがよりよくなるために、意見を伝えたり、友達の意見を受け入れたりして自分の考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の担当する係の準備活動などに進んで取り組み、正しい手順で行う。 ・友達の話に相づちを打ったり、友達の意見に付け加えて自分の意見を伝えたりして意見をまとめていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見を聞いて、自分の意見や感想を伝える。
J		<ul style="list-style-type: none"> ・絆カフェ・ショップの活動に見通しをもち、自分の役割が分かって進んで取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一連の活動を覚えて、友達と言葉を交わしながら進んで活動する。 ・友達に伝わりやすい話し方で、自分の意見を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に道具を動かしたり、友達と話したりしながら自分の意見を書く。
K		<ul style="list-style-type: none"> ・絆カフェ・ショップの活動に見通しをもち自分の役割を自覚して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・速やかに準備活動に取り組んだり、正しい手順や姿勢で接客したりする。 ・時間を意識して友達の意見を参考にしながら自分の意見を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見を参考にしながら、自分の意見を伝える。
L		<ul style="list-style-type: none"> ・絆カフェ・ショップで、自分の役割を理解して、責任をもって役割に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が担当する係に必要な道具を準備したり、分らないことは自分から確認したりしながら活動する。 ・友達の意見や教師の言葉を参考にしながら、自分の意見をもったり、伝えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に道具を動かしたり、教師や友達と話したりしながら自分の意見を伝える。

(3) 配置図 (高等部1年 教室)

【学習活動1～3, 7～9の場面】



【学習活動4～6の場面】



(4) 学習過程

時間(分)	学 習 活 動	教師の働きかけ, 手立て	準備物等
10:20 (1)	1 挨拶をする。		進行カード
10:21 (24)	2 本時の活動内容や目標について知る。 目標 お客様が買いやすい店にするための物の配置を考えよう。 ①ビデオを見る。 ②ロールプレイをして課題について知る。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に学習に取り組むことができるように, Bに進行役, Dに黒板への掲示役などを依頼する。 振興局での出店経験がない生徒が, 前回の出店時の様子をイメージすることができるように, ビデオを見ながら説明したり, レイアウトを再現してロールプレイしたりする場面を設定する。 意見を考えやすいように, 「お客様の動線を一方通行にする」「出入口は一か所」など北秋田地域振興局での出店のルールを確認する。 物の配置を考えることができるように, 移動黒板に今までの出店の様子が分かる写真を掲示する。 	話合いの 約束ボード ワークシート 付せん紙 パソコン テレビ 長机 移動黒板 写真 レジスター 作業学習製品 コーヒー メーカー コーラ オレンジ ジュース コーヒー 紙コップ ストロー ガムシロップ おぼん バインダー
10:45 (15)	3 自分の意見を付せん紙に記入する。	<ul style="list-style-type: none"> 本時の話合いテーマについて, 自分の意見をもつことができるように, 考えを付せん紙に記入する時間や実際に物を移動しながら考える場面を十分に設定する。 	メーカー コーラ オレンジ ジュース
11:00 (20)	4 話合い活動をする。 ①意見を伝えてから, 付せん紙を模造紙に貼る。 ②物を動かしたり, ロールプレイをしたりしながら意見をまとめる。 ③まとめた意見をワークシートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> 約束を意識しながら話合い活動ができるように, 全員で声を合わせて読むように伝える。 司会進行役の生徒には, 話合いをスムーズに進行することができるように, 話形や要点を記入した話合いシートを用意する。 意見を伝えたり, まとめたりしやすいように, ワークシートや模造紙を観点別に分ける。 話し合っている内容が分かるように, 観点ごとに意見を伝えたり, 付せん紙を貼ったりするよう伝える。 各グループが意見を一つにまとめることができるように, T1とT2は, 同じ意見の付せん紙をま 	コーヒー 紙コップ ストロー ガムシロップ おぼん バインダー 話合いシート 模造紙

		<p>【Aグループ】 A～F 【Bグループ】 G～L</p>	<p>とめたり，話し合いの中で出た良い意見やキーワードを模造紙に記入したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちでまとめた意見が妥当かどうか確かめることができるように，店内を再現した場所を利用して実際に物を移動したり，ロールプレイしたりすることができるような場面を設定する。 ・Aが，自分の意見を考えることができるように，T2と一緒に実際に道具を動かしたり，写真を選択したりする場面を設ける。 ・Bが，友達の意見をしっかりと聞き，受け入れる経験が増えるように，進行役にする。また，スムーズに進行することができるように，話し合いを進める手順を示した「話し合いシート」を用意する。 ・CとGが，話し合いのルールに沿って意見や理由を伝えることができるように，見本となる話形を机上の見えやすい位置や移動黒板に提示する。 ・Dが友達にはっきり伝えることができるように，T2は，話し合いを始める前に「はっきり話そう」などと確認する。 ・EとFが，意見と理由を考えやすいように，実際に物を動かしたり，ロールプレイをする場面を設定したりする。 ・Hが，自分の意見を伝えることができるように，付せん紙に意見を記入するとき，T1が理由などを一緒に確認しながら発表シートに記入する場面を設定する。 ・Iが，友達の意見に注目できるように，付せん紙に印を付ける。 ・JとLが，自分の意見を書いたり，伝えたりすることができるように，T1が，実際に道具を動かしながら考えるよう伝えたり，やりとりを通して考えを引き出したりする。 ・Kが，自分の意見を伝えることができるように，T1は，友達の意見を伝えたり，「〇〇さんの意見を聞いてみてどう思った？」などの言葉を掛けて発表できるような場面を設定する。 	発表シート
11:20 (5)	5	グループごとに発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでまとめた意見をワークシートに記入したり，発表したりしやすいように，模造紙と関連したワークシートを用意する。 	ワークシート
11:25 (15)	6	全員で意見をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・二つのグループから出た意見を全員で一つの結論にまとめることができるように，T1は，共通点や相違点を挙げて論点を明確にしながら，全員が納得できるように話し合いを進める。 ・T2は，生徒が出した意見が分かりやすいように短冊カードに記入して移動黒板に掲示する。 	短冊カード
11:40 (10)	7	振り返りシートを記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・次時へつながるように，短時間で振り返ることができる形式のシートを用意する。 	振り返りシート
11:50 (9)	8	まとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・次時への意欲が高まるように，話し合いの中で活動に向かう姿勢がよかった生徒を紹介する。 	短冊カード
11:59 (1)	9	挨拶をする。		

(5) 評価

- 〈生徒〉
- ・絆カフェ・ショップをよりよくするための物の配置について，友達の意見を受け入れながら話し合いに参加し，自分の意見とその理由を伝えることができたか。
- 〈教師〉
- ・前回出店時の反省や店の配置が分かり，自分の意見をもつための学習活動や教材・教具は適切だったか。